

日本ウマ科学会 2023 年度 第 1 回常任理事会議事録

日 時：2022 年 11 月 9 日（水）13：30～

場 所：日本装削蹄協会（JRA 新橋分館 5 階第 1 会議室）

出席者： 青木 会長
田谷 副会長(ZOOM 参加)
笠嶋 副会長
山中 庶務担当常任理事
半澤 会計担当常任理事(ZOOM 参加)
楠瀬 編集担当常任理事
桑原 国際担当常任理事
近藤 学術担当常任理事
平賀 広報担当常任理事
佐々木 臨床担当常任理事(ZOOM 参加)
小野 事務局長

議題：

1. 2022 年度事業報告（案）
2. 2022 年収支決算（案）および 2022 年監事監査報告
3. 2023 年度事業計画（案）
4. 2023 年収支予算（案）
5. その他

議事概要：

冒頭、青木修会長より挨拶があり、会長の進行で、会議は「2023 年度第 1 回常任理事会 資料」に基づき事務局が説明する形式で実施された。

議題 1.

事務局より 2022 年度事業報告（案）の説明があり、常任理事により承諾された。

主な説明点は以下のとおり。

- 正会員はわずかに増加。昨年と同様に 2023 年度入会の会員を前年度会誌発行後の者は 11 月 1 日付入会とした。
- 2023 年度の表彰対象者は学会賞に日本装削蹄協会の佐藤文夫氏、奨励賞に JRA 馬事部の溝部文彬氏が選考された。

- NTT よりレンタルサーバーの移設が突発的に実施されたことが説明された。
- 国際交流促進事業（海外支援事業）へ応募があった。2022 年後期 1 件と 2023 年前期 1 件であったが、後者を不採択とした理由説明が、国際担当常任理事よりなされた。
- 第 12 回 ICEEP の日本への開催誘致が正式に採択された。

議題 2.

事務局より 2022 年収支決算（案）に基づき収支決算報告案の説明があり、常任理事により承諾された。

また、説明の後、この内容で 2022 年 11 月 4 日に監事監査が実施され問題ないと報告があったことが報告された。

主な説明点は以下のとおり。

（収入）

- 正会員会費収入は、855 名分。
- 賛助会員 2 社は 2021 年度分として。アイペック社が 2 口。

（支出）

- 広報費を除き予算内の決算額であった。
- 広報費は突発的なサーバーの移行による費用と、以前から準備を進めていた jses.jp へのドメイン移行の実施、レスポンス化の実施に伴う費用。
- 通信連絡費は郵便物の送付費用とリコー及び郵便局、足利銀行の手数料。
- 学術集会事業費支出の大会開催費は第 34 回学術集会のシンポジウム撮影費用および第 34 回学術集会の会場キャンセル費用。
- 臨床委員会事業費支出のセミナー開催費は第 34 回学術集会特別講演の謝礼を JBBA と案分して支払ったもの。
- 認定馬臨床獣医師制度会計において、第 3 回の試験に 10 名受験するため入金があった。また、第 2 回にかかった経費が事業管理費として支出されている。

議題 3

事務局より 2023 年度事業計画（案）に基づき事業予定案の説明があり、常任理事により承諾された。

主な説明点は以下のとおり。

- 学会賞・奨励賞の表彰対象者は事業報告の通り。
- 臨床委員会企画の特別公演はロンドンの王立獣医大学 Dr.Toutain 氏にドーピングに関する講演を行ってもらう予定。シンポジウムは JRA アンチドーピング課を座長とし競走馬理化学研究所や乗馬関係の演者に天谷氏などを交えて、それに関連したものを実施。

- 認定馬臨床獣医師第3回認定試験は2022年11月29日（火）に実施。10名の受験者。第4回は2023年11月28日（火）を予定。

議題4

事務局より2023年収支予算（案）に基づき収支予算案の説明があり、常任理事により承諾された。

主な説明点は以下のとおり。

（収入）

- 会費収入の正会員の数はい時点の95%で算出。
- 第35回学術集会参加費は3年ぶりがかつ事前登録制としたため読めないで、10月31日現在の参加者予定者数の1.1倍とした。
- 企業展示収入についても予測が難しいが、過年度の参加企業数から算出。
- 著者負担金の収入は実態に合わせて減少させた。

（支出）

- 人件費については最低賃金変更に伴う時給の上昇によるもの。
- 出版刊行事業費支出は原油高の影響から紙代、運送コストなどの増額が見込まれるため増加。
- 大会開催費については、第35回学術集会に伴う撮影費用が追加されるため増額。
- 臨床委員会事業費支出については、第36回の講師交通費およびセミナー準備費用を事前払う必要がある可能性があるため2022年度予算に計上している。また、ロジャースミス氏の特別講演の旅費も含む。
- 認定馬臨床獣医師制度会計の受検者収入は実態に合わせて10名の受験を見込んでいる。5年更新の収入は11月以降となる予定のため含んでいない。
- 馬用語集の発刊については、常任理事会で引き続き審議し、配布対象者を整理してから印刷することとし、本年の予算計上はおこなわなかった。

議題5

（ICEEPの国内委員会について）

第12回ICEEPの開催に向けて、ICEEP国際委員会の会長より、JRA日本中央競馬会の理事長と日本ウマ科学会会長あてに依頼文が送付された。これに伴い、組織案が提示され、開催組織委員会および開催本部を設置し、それに伴う規約の制定について話し合われ、常任理事会で承認された。

（賃金に関する内規について）

事務局より、2022年10月1日付で最低賃金の改訂が行われ、東京の最低賃金を下回ってしまうため改訂を行った。また、交通費についても上限を1000円に変更した。

（15:30終了）